

令和4年度 福祉・ボランティア出前講座について

< 目的 >

少子高齢化が進む中、共に支え合い、助け合う地域福祉の担い手としてのボランティアの育成は大きな課題となっています。また、ボランティアの育成は、子どもの頃からの動機付けも大切となっていますが、日常生活において高齢者や障がいのある方と接する機会や福祉について学ぶことが少ないため、ボランティア活動への理解や関心の高まりも進みにくくなっています。そこで、次世代のボランティア活動者を育成するため、学校でも取り組みやすく、ボランティアについて体感できる「福祉・ボランティア出前講座」を実施いたします。

< 講座の概要 >

- 講義形式 福祉とは、ボランティアとは、ノーマライゼーションとは、盲導犬の理解、傾聴など
 - 体験形式 車いす、手話、点字、高齢者疑似、アイマスク・ガイドヘルプ体験など
- ※講義と体験の組合せも可能です。また、体験もさまざまな形で行うことができますので、別紙「福祉・ボランティア出前講座内容一覧」を参考にしてください。

< 実施経費 >

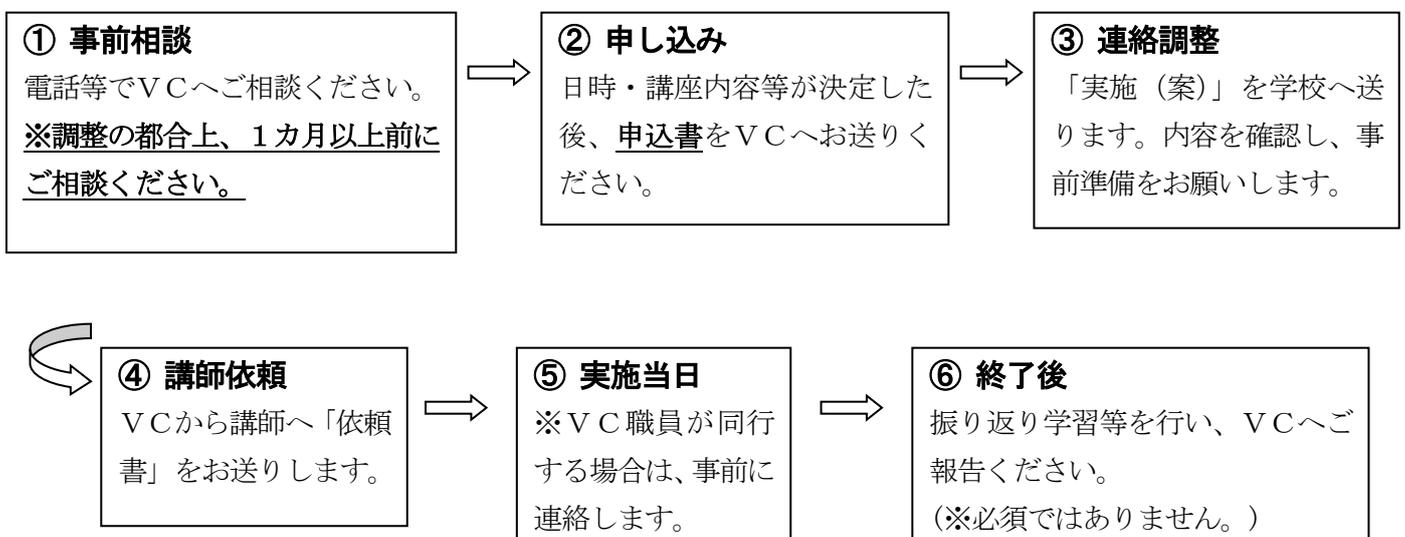
- 学校側の負担となります。

①講師謝礼 講師一人あたり (おおむね 1時間～2時間以内)

- ・講義や車いす指導など 1名 2,000円 (障がい者講師 3,000円)
- ・グループでの指導(手話・点訳など) 6,000円 ※3名以上の場合はグループ扱いとなります。
- ・ボランティア・地域貢献活動センター職員 無料

②その他 消耗品(教材資料の印刷など) 実費、または現物をご用意いただきます。

< 実施の手順 > ※VC⇒ボランティア・地域貢献活動センター



< 福祉教育推進協力校助成金 をご活用ください。 >

福祉教育推進協力校助成金は、1校あたり50,000円を上限に助成し、「総合的な学習の時間」などにおける福祉教育推進・ボランティア学習に活用していただく制度です。福祉・ボランティア出前講座における講師謝礼金や、児童・生徒会が実施するボランティア活動に係る物品の購入などで使用できます。詳しくはボランティア・地域貢献活動センターまでお問い合わせください。

< 体験用具について >

体験形式で実施する場合に必要となる、車いす・点字板・高齢者疑似体験セット・アイマスクなどの用具は、ボランティア・地域貢献活動センターで貸出しいたします。貸出し希望の場合は、期間などを電話でご相談ください。

※用具の運搬は、ボランティア・地域貢献活動センターが行います。

(出前講座以外で使用するなど、用具のみの貸出しは行なっておりません)

< 講座実施例 >



[本田中学校：国際協力、国際理解について]



[小松南小学校：車いす体験]



[中川中学校：点字（点訳）体験]

令和3年度実績

小学校：22校 61回 中学校：7校 12回 高校：2校 13回

特別支援学校：1校 1回 地域：0団体 0回 計：32ヵ所 87回

●目的や年齢に応じた実施プランのご相談にも応じていますのでお問い合わせください。

ボランティア・地域貢献活動センターのホームページから、申込書類一式をダウンロードすることもできます。

http://www.katsushika-shakyo.com/service/other/volunteer_center/lecture/

※2学期や3学期・「葛飾教育の日」に実施依頼される学校が多くなっています。協力できるボランティア講師や貸出し体験用具が限られていますので、日程に余裕をもってご相談ください。
(ご希望どおりの内容や方法では実施できない場合もあります。)

ボランティア・地域貢献活動センター 葛飾区堀切3-34-1 ウェルピアかつしか1階
電話 5698-2511 FAX 5698-2513 (担当：亀川・亀山)